

# 復興大学構想

沢田康次

東北工業大学学長  
学都仙台コンソーシアム運営委員長

シンポジウム

「東日本大震災を超えて：大学のなすべきこと、できること」

日本私立大学団体連合会主催

H23年 8月2日

於：東北学院大学

## 学生の叫び<sup>1</sup>（5月中旬）

「命があるからと言って被災していません  
と思わないでください。」

「目の前で愛する人が流された気持ち分  
かりますか」

## 学生の叫び2 (5月下旬)

「実家が被災しました。被災地の中心にある大学として被災地に何ができるか学生に示されていない。

他の大学でやられていることが本学でやられていない。残念というより悔しい。」

## 学生の声3 (6月中旬)

「被災地にある工業大学が地域にできることはないだろうか？

直接復興にかかわるであろう我々が復興について考えなくてはいけないのではないのか？

復興についての授業があってもよいと思う。」

## 東北工業大学「地域復興のための共同プロジェクト」

復興提案プロジェクトテ - マ	代表	学科	連携先
建築学科復興支援室を核とした継続的地域再生支援プロジェクト	渡邊 浩文	A	宮城県建築住宅センター
従前の土地への居住を前提とした石巻市街地および石巻漁港の復興計画	稲村 肇	C	石巻市商工会議所
気仙沼市南町および南町海岸復興プロジェクト	今西 肇	C	気仙沼市南町商店街連合
アーキエイドとの協力による石巻市・牡鹿半島・雄勝半島の地域風景復興プロジェクト	福屋 粧子	A	石巻市
宮城県食品工業 学生参加による販路・マーケティング支援プロジェクト	佐藤 飛鳥	MC	宮城県食品工業協議会
宮城の地場産品復興支援「手のちから」プロジェクト	菊地 良覺	SD	みやぎ地場産品開発流通研究会
地域産業復興を支援する組込みソフトウェア技術者向け研修事業	畑岡 信夫	E	仙台市
災害復興建設「微細藻培養オープンポンド施設の建設」 - 石巻の港湾復興計画について -	神 正照	情	石巻市
復興まちづくりに向けた創造力を育む仮設居住支援プロジェクト - 地元NPOとの協働による長町仮設住宅での実践 -	新井 信幸	A	(社)パーソナルサポートセンター
震災関連住宅における室内熱空気環境の実態の解明と対策	石川 善美	SD	日本建築学会東北支部環境工学部会
大船渡湾水環境調査業務の支援	山田 一裕	K	大船渡市
東日本大震災が道路ネットワークに及ぼした影響について	村井 貞規	C	国土交通省東北地方整備局
復興絵馬 ～被災地域の未来を担う"子ども達の心の復興"支援プロジェクト～	近藤祐一郎	K	仙台市立七郷小学校
地域住民のための防災・減災教育プログラム開発	太田 博雄	SD	八木山市民センター
被災地の子どもたちの交通安全対策 - 通学路点検と安全教育 -	小川 和久	共	宮城県教育委員会 (教育庁スポーツ健康課)
震災復興を契機とした協調型社会の促進策に関する研究	青木 俊明	MC	名取市
語りと記憶のプロジェクト	堀江 政広	CD	東北大学メディア研究室

工学部： E: 知能エレクトロニクス学科、 A: 建築学科、 C: 都市マネジメント学科、  
K: 環境情報工学科

ライフデザイン学部： CD: クリエティブデザイン学科、 SD: 安全安心生活デザイン学科、  
MC: 経営コミュニケーション学

共： 共通教育センター、 情： 情報センター

# 復興大学構想

仙台学長会議  
学都仙台コンソーシアム

## 「復興のための人材育成システム」

被災地の復興には10年の年限が必要。このためには復興のための人材育成が大切であるが、残念ながら「復興会議」ではあまりこのことが理解されていなかった。

被災地の大学が力を合わせて、被災地の復興のみならず、やがて日本再生に貢献できるリーダーとなる人材を生み出せる教育システムを設置する構想が必要。

災害時のように答えのない問題に即応できる現場に強い人物は、グローバル化時代において日本再生に不可欠な人材となる。

# 復興大学（仮）のキーポイント

## A．教育内容

講義科目だけ揃えればよいというものではない。

目的実現のための教育を行うコア科目が必要。

### 1 ) 復興人材コースの入門講義

この災害の意味するところ。

地域、東北地方、日本国家が被ったダメージと将来  
ビジョン

組織の再構築と求められる人物像

### 2 ) 被災地現場実習

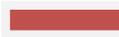
専門学科の研修の一部でもよいし、全部でもよい。

単位数？

### 3 ) コア科目

復興の実際と将来へのビジョンを討論するセミナー  
のほか必修科目を20単位（？）程度設定する。

## B . 教育制度

現在の設置基準の範囲内で各大学により通常課程  と  
復興大学課程  の組み合わせが可能

A)



B)



C)



## C. 奨学生制度

モチベーションを上げる。

(仮に年間50名を2年間授業料を半額免除した場合、年間60万×100=6千万)

## D. コース修了者の必要性

国・地方自治体に必要な人材を提供できる。  
本来、このコースを習得した学生は  
企業にとっても魅力的な素養を身に  
つけるので、グローバル化時代の企業にも  
有用である。

# 私立大学と国立大学のミッション

私立大学は地域の発展と密接な関係を持つ運命共同体であり、地域の発展に貢献するミッションを持つ。

個々の私立大学はそれぞれ特徴ある理念を掲げ、具体的に地域社会と連携するが、個々の発信力は特徴的・限定的である。

国立大学は、国の発展が各地域の発展の上に成立することを理解し、コンソ・シウムや学長会議など大学間連携組織の位置づけが強化されるまでは、所在する地域の連携組織の努力と貢献を理解し、総括して国へ伝達するミッションを持つ。

## 資料

「21世紀社会の持続的発展を支える私立大学」

- 「教育立国」日本の再構築のために-

H23.6 日本私立大学団体連合会

# 淘汰と進化

大自然災害は淘汰圧を高める。

2億3000年前から生存した恐竜が、6500万年前に突然絶滅し、鳥類に進化した可能性が検討されている。

組織の進化論も同様で、大自然災害により既存の枠組みが外れた時、少しの差が将来の大きな差となる。

## 被災地の高校生諸君

諸君は、大隕石が地球に  
落下した時のきょう竜のように  
呆然としていてはならない。

きょう竜に羽根をつけて飛び立った  
鳥類のように進化しようではないか。  
共に！

東北工業大学

学長 沢田康次